



マイコンカー全国舞台へ

来月、初の出場 「完走目標」入念に調整

【花北青雲高の畠山航君(2年)】

花巻市石鳥谷町の花北青雲情報工学科の畠山航君(2年)は、来年1月9、10の両日、東京都八王子市で開かれるジャパンマイコンカーラリー2016大会(全国工業高校長協会主催)に出場する。初めての大会で「完走してまずは記録を残したい」と入念な調整を続けている。

マイコンカーは車体前方のセンサーが走路を検知し、人が操縦しなくてもコースに沿って自走するようプログラムミングされた手作りマシン。同校では工学研究同好会が部活動

などで製作し、3年前から大会に出場している。同校の体験入学でマイコンカーに興味を持ち、すぐに入部を決めた畠山君。1年の時からめり込んだ。昨年出場した北東北地区大会では、惜しくもコースアウトで全国大会出場を逃した。

記録を残せなかった悔しさと「来年は全国へ行けよ」との先輩の励みしが、再挑戦へのばねになった。新たな車体製作に創意工夫を重ね、今年11月に秋田県で開催された同大会で上位3校に入り予選通過。個人成績6位を獲得した。全国大会はクランク

が多いなどコースが複雑な上、10分長く、綿密なプログラミングが不可欠になる。本番に向け、最低限の強度を保ちながら機体を軽量化。さらに地面すれすれまで重心を下げて空気抵抗などを減らし、無駄のない走りができるよう調整している。

カーネームは「ヴェールヌイ」。ロシア語で「信頼」を意味するといい、夢の舞台への思いを託す。「まずは記録を残し、次につながる大会にしたい」。畠山君は冷静な一言に情熱をにじませ、意気込む。

「より良い走りで見につなげる大会に」と、愛車のヴェールヌイの再設計を進める畠山航君